

千葉県石油コンビナート等防災アセスメント検討部会  
第1回検討会議 議事要旨

1 日 時 令和7年11月13日（木）午後1時30分～午後3時

2 場 所 千葉県自治会館9階 第3会議室

3 出席者 座間委員（横浜国立大学 総合学術高等研究院 次世代工学システムの安全科学研究ユニット 客員教授）、畠山委員（総務省消防庁消防大학교消防研究センター 技術研究部長）、劉委員（千葉大学大学院工学研究院 准教授）、松谷委員（京葉臨海南部地区石油コンビナート等特別防災区域協議会会长）、善場委員（市原市消防局長）、中野委員（千葉市総合政策局危機管理部 危機管理課長）、青柳委員（県防災危機管理部長）、新井委員（県防災危機管理部産業保安課長）

4 議事概要

(1) 千葉県石油コンビナート等防災アセスメント検討部会部会長の選出について  
部会長として、青柳委員が選出された。

(2) 千葉県石油コンビナート等防災アセスメント調査事業について  
各委員から下記のような意見をいただいた。

- ・激甚化している風水害による被害等についても、評価項目に入れることを検討してほしい。

(3) 千葉県石油コンビナート等防災アセスメント調査事業業務委託企画提案  
仕様書（案）について

各委員から下記のような意見をいただいた。

- ・地震による被害に対する評価については、千葉県地震被害想定調査（令和5～7年度で県防災対策課が実施）における想定地震動のほか、内閣府や研究機関による地震動で利用可能なものがあれば、それらも活用して取り組んでほしい。
- ・津波による被害に対する評価については、千葉県地震被害想定調査（令和5～7年度で県防災対策課が実施）で得られる知見、津波浸水想定（平成30年に国土整備部政策課が公表）等を十分に活用してほしい。
- ・調査会社を選定するにあたっては、消防庁の「石油コンビナートの防災アセスメント指針」に示された手法に限定せず、調査会社の強み、ノウハウを活かせることを意識することが重要である。